第十九號

部報

昭和十三年三月十一日

○第三十三回陸軍記念日に方りて（臺灣軍司令部）

○國家總動員と本島青年（臨時情報部）

○空爆に動ぜぬ銃後の護り（臨時情報部）

○地方情報（臨時情報部）

○美談集錄(十六)（臨時情報部）

附錄 事變日誌

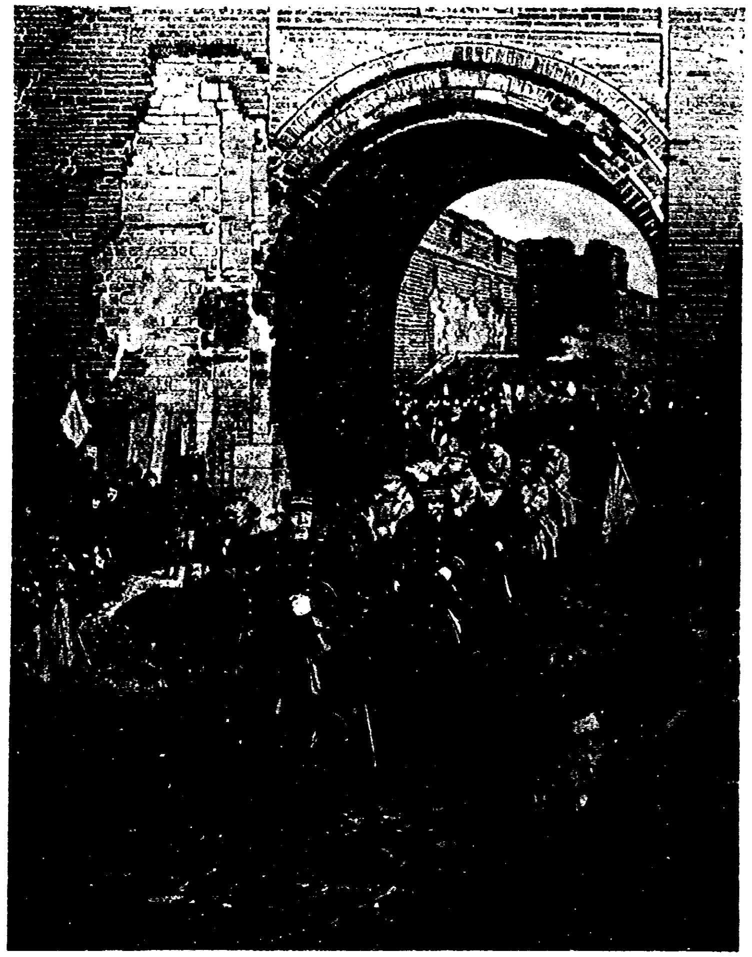
臺灣總督府

臨時情報部

昭和十二年九月二十日第三種郵便物認可

昭和十三年三月十一日發行[illegible]一日、十一日、廿一日發行）

戰史に輝く奉天入城



明治三十八年三月十五日滿洲軍總司令官大山巖大將が兒玉總參謀長以下幕僚を隨へて奉天城南大門を入るの記念すべき光景

勝つて兜の緒を締めよ

（陸　軍　省）

第三十三回陸軍記念日に方りて

臺灣軍司令部

本日は第三十三回の陸軍記念日であります。御承知の通り過ぐる明治三十七、八年日露戰役に於きまして我軍が奉天の大會戰に二十五萬の兵力で三十七萬の露軍に對して大勝利を得、敵の死命を制して戰爭を終局に導き我國の威武を中外に發揚しました意義深い日であります。今その記念日を迎へるに方りまして當年を追憶して轉た感慨の深いものがありますと共に今日極東の事態が惡化しまして支那事變となりその規模に於きましても日露戰役に勝る一大戰爭の事實を展開しつゝあるの際當時に學ぶべきもの〻特に大なるものがあるのであります。

顧みまするに日露戰役は帝國が東洋の平和と帝國の安全とを確保する爲に横暴極りない露國に對しまして國運を賭して當つた乾坤一擲の聖戰でありまして、當時の國情からしましてこの大戰爭に對する國内朝野を擧げての決意は極めて悲壯痛烈なるものがあり、その擧國一致、必死奮戰の意氣は正に今日の事態に於きまして我等の以て範とすべきところであります。即ち當時露國は我に對し面積に於て五十倍、人口に於て三倍、兵力は五倍を有し世界最强の陸軍國として我が國力とは格段の相違があり從つて之と戰ふに至りました我國は朝野を擧げて如何に悲壯なる覺悟に燃えた事でありませう。今

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

思ふだに涙ぐましいものがあるのであります。今日出征兵の歓送の時歌はれまする「天に代りて不義を討つ」の軍歌は實に日露戰役の當時に作られ盛んに歌はれたもので、出征する者は皆眞に「勝たずば生きて歸らじと」と云ふ悲壯なる覺悟で出て行つたのでありました。又第一線では遼陽の激戰に或る後備歩兵聯隊の命令の中には「第一代の聯隊長は戰死し、第二代の聯隊長は負傷し、第三代の聯隊長は亦戰死せり、聯隊は三聯隊長の爲に弔ひ合戰を決行せんとす」と云ふ悲壯なる文句も見られる程でありました。斯くして不撓不屈斃れて猶已まざるの精神と意氣とは全軍將兵の中に漲りまして到る所に皇軍の精華を發揮して克く兵力の劣勢を補ひ、裝備の不良を償ひ、以て連戰連勝の榮譽を贏ち得たのであります。この皇軍將兵の燃ゆるが如き獻身の意氣に伴ひまして横川、沖の諸氏の如き民間の志士の奮起して敵の背後に活躍するものもあり又銃後に於きましては「一太郎やーい」の母を生み上下貴賤を問はず眞に擧國一致の熱誠を披瀝しまして、或は献金に或は恤兵金品に遺憾なき銃後の後援を盡しまして第一線の將兵を鼓舞激勵し遂に曠古の大勝を博するに至らしめたのであります。

この戰勝の結果は帝國今日の隆運の基礎を爲しまして其後歐洲大戰を經、滿洲事變を契機としまして帝國の國際的立場は愈々重大となりました事は皆さんの記憶に新な所でありませう。

帝國現時の國力は日露戰役當時とはその面目を一新せる隆昌さを見て居ります。而も今次事變に於きまする我が當面の敵は比較的劣弱なる支那軍でありますので、その戰爭の規模の甚大であるに拘らず國民の意氣と緊張の度に於きまして日露戰爭當時に比して比較的餘裕のあるのを思はしめるものがないでもありませんが、東亞今日の事態を眞に觀察しまするとその困難の度は決して日露戰役當時に勝るとも劣ることなく、帝國の前途には空前の重大なる情勢が近く扣へて居ることを痛感せざるを得ないのであります。飜つて考へまするに今次事變發生以來皇軍の目覺しい活躍に依りまして過去八箇月に於ける成果は眞に絶大なるものがありました。此間支那軍は當初の鼻息にも似ず到る所に慘敗を續けその死傷は數十萬に達し空軍亦多大の損害を受け今や著しくその戰鬪力を減殺したる狀態にあります。而も首都南京を逐はれました國民政府は遠く奥地に分散して逃げ込み十分にその機能を發揮する事の出來ませんばかりでなく内部には各種の暗鬪があり又經濟的には今や破滅に瀕して居るのであります。然るに彼尙醒めず歐米を頼みにして長期抗戰を策して妄動して居ります。國民政府が斯くまでも執拗に抵抗を決意して居りますのは全く帝國の眞意を解せざる憐むべき蒙昧に基くものでありまして、又支那は國土廣大で人口數億を算し餘命を繋ぐには根强き底力を持つて居り且彼は近代的國家としての態樣と核心的要地とを持つて居りません關係上、恰も下等動物の如く尻尾だけでもぴく〱動き得るのであります。而も此間に極東に重大なる關係を持つて居ります列國の中には或は武器、彈藥その他の物資を供給し、或は軍事その他の指導者等を派して支那を援け之に依りまして自らの地歩を保たうとし、又は日支の抗爭を長期に導いて我が帝國の國力を疲弊させ以て興隆日本を抑壓しやうとする企圖すらなきにあらざるを思はしめるものがあります。從ひまして事變は自ら長期に亘るべき必然性を有し我が帝國の前途には幾多の難關が横たはり事變の推移は眞に容易ならざるものがあります。乃ち國際情勢は頗る複雜微妙であります上に各國權益の甚しく錯綜して居ります彼の地に於きまして健全なる新政權の建設發展に協力しまするると共に、一面長期抗戰に狂奔蠢動する國民政府の剿滅

を期しまする爲には帝國亦長期に亘る覺悟を以て飽くまでもその目的を達成する様にせねばなりません。卽ち帝國は確乎不動の決意をもちまして萬般の對策を講じ長期戰に備へて本腰を据ゑてかゝらねばなりません。

之が爲には帝國は物心兩方面に亘りまして國家總動員の態勢の完成を圖りまして之に必要な諸般の施策を實現し武力戰に伴ひまして思想戰、經濟戰、政略戰、外交戰等の綜合的威力を發揮し、一は成るべく速かに事變を終局に導きますと共に、一は次に來るべき重大なる事態に備へまして東亜永遠の平和に向つて磐石不動の基礎を確立せねばならぬのであります。

抑々國家總動員とは一旦緩急の際に國家全體が戰時の態勢に移り國民の精神意氣を最高度に發揚しますると同時に國家の利用し得る人も物も有形無形一切の資源を統制按配しまして軍需の要求を完全に充たし國家の生存と國民の生活を確保しつゝ戰爭を最も有利に遂行しますます爲の凡ての事業を云ふのでありますが、之は實に戰場に於ける皇軍將兵の絶對の忠誠と相併立しまして、銃後の國民がその心と物とを國家の善用する所に捧げんとする戰時最高の道義的作用であります。之が完全に出來て初めて軍民が一體となり國家の凡ての力を最高度に發揚することが出來るのであります。

先に述べました長期戰は既に武力戰のみの範圍を脱しました國家總力戰でありまして思想經濟政治外交の全面に亘つて行はれるのでありますが、その基礎となり原動力を成すものは實に國家總動員であります。從つて帝國が既に長期戰を覺悟し之に入りました今日、國民は老若男女を問はず、家庭に於きましても農山漁村に於きましても或は又都市に於きましても凡ての者が眞にこの重大なる時局を認識しまして各々その職分と立場とに於きまして最善の努力を盡さねばなりません。之が爲個人生活

に於きましては消費の節約代用品の使用、廢品の利用等の微に至るまで深く意を用ひまして或は隣近所互に相助け合ふ美風を助長し進んで社會公共の施策、事業等に對しまして自己の利害を超越しました奉公の誠を致し以て國家の凡ての施策に協力せねばなりません。而して國民精神の總動員は實にこの根本中心をなすものでありまして、我が尊嚴なる國體に基く盡忠報國の傳統精神卽ち我々が先祖代々受け繼いで居ります所の「君の爲、國の爲」と云ふ精神を遺憾なく發揚振起し實生活に卽しました根强き力をもちまして將來如何なる困難に遭遇しましても堅忍持久毅然として動ぜざる精神の大同團結を完成しましたならば自ら之が國家の組織形體の上にも現はれまして、茲に國家總動員の實質的方面をも完成に導くのであります。

扨て今次の事變で戰場の第一線に於きまする將兵の忠勇果敢な行動は眞に感激の極みでありますが我々は更に輝かしい戰勝の蔭には幾多の將兵が尊き血を流し絶大の困苦をなめて居ることを寸時も忘れる事は出來ないのであります。彼等は何れも天業恢弘を翼賛し奉る聖戰の目的達成の爲にその尊き命を捧げつゝあるのであります。東亜の平和建設を目標として　天皇陛下の萬歳を唱へ乍ら護國の神となりました英靈に對しましては唯々心からなる感謝を捧げまするると共にその加護と照覽の下に我々自身も亦その態度を決めねばならぬのであります。

北支の戰線で名譽の戰死を遂げました田淵虎雄上等兵が戰死の三時間前に塹壕の中で認めた遺書には次の様に書かれて居ります。

兄様　天皇陛下の御爲喜んで戰死します。今夕又は明朝迄に〇〇部隊の第一線にて私は死んで鄉

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

里大竹(廣島縣)に歸ります。私の戰死は田淵家の名譽と思つて皆樣喜んで下さい。私の最も殘念とすることは今日迄母上に何一つなすことなく死んで行くことです。兄さん、姉さん、色々書きたい事もありますが書くことが出來ません。では笑つて死にます。

十月二十日午後五時　第一線の壕内にて　田淵虎雄

この崇高なる氣持の前に誰か肅然頭を下げざるものがありませう。この至誠純忠の心のみが古來我が帝國を眞に護り通して來たのであります。

君國の爲に一死奉公の誠を致しますのはこれ萬世に生きる所以であります。而も人類最高の聖業に參加して斃れますことは無上の光榮であり又感激の極みであります。この感激のあるところ如何なる抵抗も障碍も打ち碎かれ、こゝに始めて東洋平和の確立と人類の樂土建設の理想は自ら顯現せられるのであります。

皇軍將兵は實にかゝる平和の樂土建設の人柱となるのでありますが、而も此等の人々は之に依つて直に久遠の樂土に再び生れて護國の神として無言の中に我々にその嚮ふべき道を敎へ示して居るのであります。我々は誰でも苟も一度英靈に對しまする時或は靖國神社の神前や陸軍墓地の靈前に額づきます時は崇嚴無量の感に打たれ一切の個人的慾情や俗念を超脫しました純粹なる誠心を體驗せしめられるのでありますが、この心こそ人間最高の境地でありまして、之が我々日常の仕事は固より聖業を成し遂げる根本の指導力となるのであります。「父に會ひたくば靖國神社へ來れ」と書き殘し或は互に「靖國神社に於て再會せん」と云ひ交はしつゝ死に直面して活躍する第一線將兵の心を以て自分の心とし銃後國民の凡ての者が獻身奉公の道を辿りましたならば天下何事として出來ない事はないのであります。而も此等第一線將兵の多くは平素に於きましては在鄕の一國民として生業に從事して居りましたもので、之が一朝有事に際し召集せられて第一線に出で斯くも崇高なる境地に立ち得る事を考へますと我々帝國臣民は誰しもその心の底に「君の爲國の爲」と云ふ傳統の精神を持つて居るのでありまして、何人でもよく此等將兵の心を體し得るものであることを信じ得るのであります。之が我々眞の帝國臣民としての誇とする所でありまして、外國の人々には眞似の出來ない所であります。

事變は既に國家の凡ての力を以て對抗すべき長期戰となりまして國民は悉くその第一線に立つべき使命を負はねばならぬ今日全國民は戰場第一線將兵の心を以て自分の心とし、以てこの國家の大事に各々その本分を盡し帝國の重大使命遂行の爲に眞に擧國一致の實を發揮せねばならぬと考へるのであります。

この機會に銃後の後援に就きまして一言したいと思ひます。凡そ前線にある將兵をして後顧の憂なからしめますことは銃後國民の義務でありますと共に眞に擧國一致の力を發揮する所以である事は申す迄もありません。日露戰役の直後當時の英國大使は「日本の戰勝の大半は銃後の後援に依る」と喝破しましたが、正に戰勝の半は之に依りまして左右せられると云ひましても過言ではないのであります。祖國を思ひ國家の爲に死なんとする將兵の心はしばらくの間も國民や國情を離れる事はないのであります。從つて國內銃後の事情や心意氣は直に前線に在る將兵に響の樣に反映するのであります。今次事變の勃發以來國民銃後の熱誠は彌が上にも高潮しまして眞に涙ぐましいものがあり、正に帝國獨特

の美しい面目を遺憾なく發揮して居ります。その精神的方面の事は申すに及ばす、献金や恤兵金品の數量だけを見ましても、その程度を察知する事が出來るのであります。卽ち事變以來臺灣軍司令部だけで受けましたものでも國防献金は百二十萬圓以上に、恤兵金は二十萬圓近くに達して居ります。其他慰問袋等實に夥しい數に上つて居ります。

此等は全く本島に於ける銃後國民の熱誠なる後援の結晶でありますが、之が直に以て第一線將兵の慰安となり激勵となり遂には比類なき勇猛心を發揮せしめる原動力ともなるのであります。そうしてこの尊い後援の結晶の蔭には或は貧しい生活費を割いて献金し、或は長年月粒々辛苦して貯蓄したる金を献納し、或は忙しい仕事の上に更に働いて得たる賃銀を献納する等涙ぐましい美談の數々は實に枚擧に遑ない程でありまして、こゝに國民精神の總動員的の成果の遺憾なき發露を見、無限の心强さを覺へますと共に軍としまして誠に感激して居る次第でありますが、此等は單に第一線將兵に對する感謝慰問乃至は激勵たるのみならず、遺家族に對しましても全く同樣でなければならぬのであります。一家の柱である男を戰場に送りました家庭の負擔は實に多大でありまして、中には寄る邊なき老母一人を殘して出征しましたもの、或は母亡き愛兒を他家に託し店を閉ぢて出征しましたもの、或は旅先に病妻の急死を葬ふ暇もなくその遺骨と乳兒とを兩手に抱いた儘急いで兵營に馳せつけて應召しましたものもありまして、此等の人々で戰死を遂げ或は傷を受けて廢疾となりましてはその遺家族の蒙る打撃の程は實に察するに餘ある次第であります。

此等の遺家族に對する感謝慰問乃至扶助救護等は同胞全體の當に最善を盡して奉仕すべき義務でありまして、本島に於きましても夫々その方法の講ぜられて居りますことは感謝に堪へぬ所でありまして、こゝにも擧國一致の實が發揮せられるのであります。斯くあつてこそよく「あとは心配するな、お國の爲に專心御奉公せよ」との健氣なる家族の言葉ともなり又「喜んで死んで行きます」と云ふ忠勇なる將兵の活躍ともなるのであります。

今や事變發生以來八箇月その成果は全世界の以て驚異となす所でありまして、我が帝國の國威は遺憾なく發揚せられその多難なる前途にも尙輝かしい光明を認めることが出來るのであります。之は一に　天皇陛下御稜威の然らしむる所でありまして唯々感激に堪へない所であります。今次事變の勃發は固より東亜に於ける不幸なる出來事ではありますが、事實は多年に亘る禍根を一掃し日支の國交を是正しまして、明朗なる東亜の誕生を迎ふべき一大試練とも申すべく帝國が世界平和の聖業に乘り出す大行進途上に於ける必然の過程と見るべきであります。本日日露戰役第三十三回の陸軍記念日を迎ふるに方りまして過去の諸戰役に於ける先人の偉業と苦難とを思ひますれば、之を受け繼ぐ我々は愈々先人の功績をして光らしめまして帝國前途の光明を永遠不滅のものにせねばなりません。玆に皆樣と共に長期戰爭に備へて遺憾なき磐石不動の信念を堅持し「君の爲國の爲」と云ふ我々傳統の精神を愈々高潮し第一線に銃後に眞に擧國一致の實を發揮しまして帝國が只今述べました聖業を完成致しまする爲に飽くまで協力邁進せんことを期したいと存じます。

今にして帝國がよくその試練に堪へ難局の愈々その度を增すに從つて益々勇猛大行進を續け以て世界永遠の平和實現の理想に邁進しなければ帝國肇國以來の使命は達成する事は出來ないのであります

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

國家總動員と本島青年

臨時情報部

本稿は陸軍記念日に方り本府臨時情報部木原副部長が臺北市圓山原頭に於て全島一萬一千の青年に呼掛けた記念講演の概要であります。

戰時體制下に於きまして意義深き陸軍記念日に方り本島青年諸君に對し、一言述べ得る機會を得ましたことは私の誠に光榮と存ずるところであります。

御存じの通り時局は今や長期戰の段階に入りその前途多端ならんとして居ります。而も現代の戰鬪が國家全體として最も强力なる精神的團結を必要とすると同時に、物質方面に於きましても科學的にも分量的にも常に優勢を占めなければならぬのであります。つまり戰爭は如何に長期にならうが武力戰に於ては勿論のこと思想戰に於ても經濟戰に於ても勝たなければならぬのであります。この事は既に二十年前から歐洲大戰が最も明瞭にその實例を示して居るのでありまして其後時代の推移と共に之等競爭關係を激化せしめつゝあることは今更多言を要せざる當然の事實であります。殊に思想戰經濟戰は戰時のみならず平時に於ても絶えず激烈なる爭が續けられて居りまして聊かの油斷を許さないのであります。だからして國家總動員の强化が平戰兩時に亘り絶體的必要條件とされ或は精神總動員の形に於て或は物質動員の分野に於て諸般の準備が進められ著々とその實現が期せられつゝあるのであります。換言すれば國家の何れの分子をも遺憾なく活動せしめ最も强力なる威力を發揚せんとして不斷の努力が續けられて居るのであります。

此時に於て青年諸君はこの國家活動の爲最も有力なる役割を受持たなければならないのであります。何んとなれば諸君は元氣最も旺盛であり國家活動上より見て正に一大勢力であるからであります。卽ち諸君の精神が確固不動のものであれば我國正義の進路をはゞまんとする者が如何なる技巧を凝し神妙手段を以て侵入せしめんとする惡思想の如きも直に之を擊退覆滅せしむることが出來るのであります。又物質方面に於きましても各種物資の增産計畫の實現も諸君の滿身の務を鼓したる活動に依つて豫想以上の生産が擧げ得られるのであります。又必要物資の消費節約、代用品の奬勵もたちどころにしてその徹底を見、立派な成果が得られることゝ思ひます。

然かも諸君は單に現在に於ける活動の中心であるばかりでなく諸君の前途が洋々なるものがある點に於て我が大日本帝國の將來を背負うて立たなければならぬことを自覺して居らなければならぬのであります。

殊に諸君は帝國南方開發の據點たる我が臺灣の明日をその双肩に擔つて居る人々であります。云ふ迄もなく臺灣は長く南に差し延ばされて居る我國の手足であり又眼でもあると云ふことを理解し臺灣の明日の重要性も十分知悉するの必要があるのであります。

惟ふて此處に至りまする時諸君の責務や實に重且大なるものがあると云ふこと痛感するのでありま

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

す。

勿論諸君は今次事變勃發以來或は戰線の直接援助に、或は銃後後援に花々しき活躍を續けられて居られるのでありますが、今後と雖もまだ〳〵多くのなすべきことが横たわつて居ること丶思ひます。而してその發生する事柄が何であろうと又如何なる困難なる仕事が割當てられましても諸君持前の潑剌たる精氣を以て完全にそれを遂行し得る丈の覺悟と準備とが出來て居なければならぬと思ひます。その覺悟たるや一に諸君の修養に俟つものが多く諸君は恐らく現在戰場に於て死力を盡して奮鬪して居られる我が忠勇なる將士に對し深き感謝の意を表しつ丶然かも之と同じ氣持を以て各人職場の修養方法を選定され常に不動の決心を持たれ日々の修養に努めて居らる丶こと丶思ひます。如斯にしてその覺悟が完成されてこそその準備の萬全が期せられるのであると思ひます。卽ち諸君は出で丶は最も有力なる戰線の援助者であり、郷にありては衆の模範たり指導者となられる様に努めらるべきでありませう。斯くしてこそ現下總動員强化への完成が見られ眞に國民が信賴し得る青年諸君と云ふことが出來、やがて東洋平和の確立と日支親善の結實も見らる丶ことが出來ると思ひます。終に臨み諸君は堅忍持久飽迄目的に向つて邁進されんことを希望して止みません。

空爆に動ぜぬ銃後の護り

事件に依る醫師、壯丁團、防衛團員の活動

臺北州臨時情報部

去る二月二十三日七星郡松山庄附近盲爆に依る被害現場に於ける醫師、壯丁團員、防衛團員等の活動は誠に目覺ましきものあり、今回の如き全く豫期せざりし災厄に際し警戒又は負傷者の手當に統制ある行動に依り、其の應急處置を一層迅速短時間に行ふことを得たるは平素團體訓練に依る賜であり又皇民化徹底の證左にして意を强うする處なり。

一、二例證せば左の如し

(1) 事件發生直後地元松山庄公醫潘廼賢氏は玉產婆を助手とし第一に馳付け次で到着したる松山庄內醫師張嫣輿、曾以標兩氏と共に負傷者に應急手當をなし程なく州救護班の到着に依り之が處置に協力す。中にも潘公醫の如きは自己藥劑を提供し負傷者を感激せしめたり。次で士林街吳公醫外四醫師、汐止街余公醫外二醫師、松山養神院救護班、鐵道部救護班、臺北醫師會醫師看護婦、臺北市城內地區防衛團救護班員等逸早く之が應援に馳付けたるは庄民の感謝せる處なり。

(2) 死體の收容援助

松山に於ける爆彈投下に依り不幸若干の死者を出したるが由來本島人は不慮の災害に依る死體には

一切手を觸るゝを嫌ふ處なるが本事件に於ては之が迷信を打破し壯丁團員、防衞團員、保正等當局の意を體し良く之が處理に任じたる行爲は皇民化の徹底、陋習打破、公共奉仕に對する活模範を示したるものと云ふべし。

(3) 慰問、見舞、見學者等の狀況

事件發生の翌日卽ち二月二十四日より三月一日に至る間彈痕の見學、死傷者遺家族の慰問、訪問等約十五萬人に達し防空思想の普及上に於ても相當效果ありたるものと思料せらる。

尙見學者中內地人婦人の多くは犧牲者の靈前に若干の香花料を手向け中には五圓紙幣を出したる婦人も見受けられ遺族を感激せしめたり。

沈着機宜に適する救護班の活動

交通局鐵道部

去る二月二十三日午前十一時四十五分頃松山鐵道工場より臺北州松山庄及同庄附近に敵機より爆擊せられしものと認めらるゝ爆彈落下し附近部落の住民に若干被害を蒙らしめたる趣當部宛通報ありたるを以て卽刻左記臺北鐵道診療所醫師を現場に急行せしめ(現場到着午後零時十分)遭難者の治療並に收容等救急處置に任ぜしむ。部內電話の迅速なる通報に依り現場に到着せる最初の救助班として當部診療所醫師の活動は頗る有効適切のものあり。而して遭難者の大部分を當部職員に依りて救急し得たるは前述の通り通報の迅速なりし事及救急處置の機宜を得たることゝ相俟つて現場最寄の當部松山鐵道診療所より救急諸材料を供給せしに因るものなり。

現場急行救護班氏名

救護班指揮者	書記	飯田重左衞門
外科醫師	囑託	山宮忠藏
外科醫師	囑託	久保孝四郞
內科醫師	囑託	細見仁
看護婦		內田ミワ
看護婦		水越八重子
死傷者の收容搬出及應急處置の幇助	書記	增田忠夫
同	書記	福山資香
同	雇	永山三平
同	雇	永田卯十

敵の空爆にも動ぜぬ公學校長

新竹州臨時情報部

去る二月二十三日は朝から一點の曇りもない快晴であつた。午後一時二、三分頃突如敵機が飛來し竹東方面が空爆されたが、被害現場に隣接の竹東郡芎林庄鹿寮坑公學校首藤俊介校長は空襲と知るや早速生徒の避難保護の爲各職員を指揮して、全生徒を適當な場所に集合せしめて、其の萬全を期したる後敵機が香山庄方面に逃走するを目擊するや爆彈投下現場へ自轉車で急行して、被害狀況を視察し鹿寮坑部落民には何等被害の無いことを確め、爆彈の破片を蒐集直ちに歸校して生徒に觀覽せしめ且つ生

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

徒に對し、鹿寮坑部落民には何等被害の無いことを説明して安心を與へると共に一方發見した長さ一尺五寸、直徑二寸六分の不發彈を竹東郡役所に携行屆出る等同校長の沈着にして、敏速妥當な處置は同校生徒は勿論のこと一般部落民から賞讃を博して居る。

尙同校長が現場に出發せんとする際多數生徒は校長に對し「校長先生危險だから今行くのは御止めなさい」と云ひながら自轉車の前に立ち塞がり校長の出發を制止する者があつたが、校長は强ひて出發するや其の危險を慮つて泣き出す兒童があつた。斯る事實は平素培はれた師弟愛の顯現だとして評判されて居る。

空爆に依り被害を受けたる范阿生君の話

去る二月二十三日來襲せる敵機の盲爆に依り、新竹州竹東郡芎林庄范阿生君の家屋の前後に四發の爆彈落下し爲に水牛一頭爆死し、且つ家屋は相當破壞されたが、正廳神棚附近には砂さへなく又晝食中の家族に何等異狀のなかつたのは、神の御庇護に依るものであると感激し左の通り語つた。

今回の敵機襲來の際自宅の前後に四發の爆彈を投下され、破片又は石や砂等飛來し、水牛一頭爆死し家屋にも相當被害を蒙つたが、神棚附近には砂さへ飛ばず、又晝食中の家族に何等の損傷のなかつたことは全く不斷朝夕神棚を禮拜して居る爲、神樣の御庇護に依るものであると信じて居る。今後は今回の神の靈驗ある事を庄民一般に傳へ、以て敬神思想の普及徹底を圖る考へである。

尙ほ范君は從來正廳に安置して居た支那式佛像を廢し大麻を奉齋して居る。

地方情報

○銃後の活動

臺北州臨時情報部

一　基隆駐屯皇軍竝出征軍人遺家族慰問學藝會

暖々公學校及び暖々、八堵官民一同の主催による基隆駐屯皇軍竝に七堵庄出征軍人遺家族慰問學藝會は二月二十二日午後二時三十分暖々座で開催されたが定刻前遺家族や臨時列車で基隆からかけつけた將兵たちで會場は立錐の餘地もない程であつた。

午後二時三十分開會の辭に次で學童の唱歌、遊戲、兒童劇等が次々に演出され將兵たちは幼い昔に返つて大喜びであつた。尙當日は暖々、八堵の官民有志や女子青年團、婦人會員等が茶菓の接待に當り、五時三十分盛況の裡に閉會した。

二　國防献金竝恤兵献金

臺北州基隆郡の二月中に於ける國防献金竝恤兵献金は個人團體合せて二十件に上り其の額は二千二百五拾五圓九拾五錢の多きに達した。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三　國防献金に關する美談

臺北州基隆郡瑞芳街焿子寮余樹林君は金鑛請負業者であるが今回皇恩の萬分の一にも報ゆる爲め亡父余振榮の百ヶ日忌の經費を節約して兵器資材費として金五十圓を瑞芳街役場を經由臺灣軍司令部に献金した。

○第二次國民精神總動員强調週間に於ける行事

新竹州臨時情報部

新竹州第二次國民精神總動員强調週間の實施に當つては赤堀知事を始め森田內務部長、樂滿警務部長其の他州內各課長、市尹、郡守を總動員して相互に緊密なる連絡、周到なる計畫、一絲亂れざる統制の下に擧州一致眞に七十萬全州民を擧げて緊張裡に終始し多大の成果を收めて終了せり。其の概要左の通り。

第一日(二月十一日)「建國の日」

(1) 國旗掲揚運動の徹底

各區總代、部落振興會員の指導盡力に依りて殆んど全戶掲出し成績極めて良好なり。

(2) 建國祭宣揚幟の掲出

市街庄に於ける各官衙、學校、銀行會社にては其の門前に「國民精神總動員」「擧國一致堅忍持久」と大書せる大幟掲出す。

(3) 神社參拜

各官衙職員、學校生徒兒童、町會員は日本精神の宣揚を表記せる大旆を携行して神社に參拜し、所在地に神社の無い所は遙拜をなしたり。

(4) 建國の夕

重なる市郡に於て映畵會を開催す。

(5) 奉祝武道大會

新竹市に於ては特に市及武德會主催の武道大會を武德殿に於て開催す。

第二日(二月十二日)「時局生活反省の日」

本日は一市五街三七庄に於ける町會、部落振興會主催の座談會を開催したるが「皇民化の實施徹底は部落の全戶に」と云ふ趣旨から赤堀知事は新竹市に、森田內務部長は桃園街に、其の他官房、內務、警務各部の各課長、係長四十三名を總動員し、各地座談會に出席せしめ實際的指導誘掖に當り置州以來未曾有の眞に擧州官民一體の總動員なり。

會談の結果日本精神の發揚と皇民化運動の實踐事項に付協議決定す。

第三日(二月十三日)「勤勞報告の日」

當日州下縱貫道路及主要指定道路にユーカリ、樟、木麻黃等約四萬五千本の街路樹が部落振興會、

町會、青年團、壯丁團員等の手に依つて植栽せられ同時に道路補修、清掃美化作業行はれたり。州各幹部は之が指導奬勵の爲め各區域を視察せり。

第四日（二月十四日）「出征將兵への感謝と殉國勇士への讃仰の日」

(1) 慰問

臺北聯隊、出征軍人軍夫の家族竝戰病沒者遺族宅へ各市郡より町會長、部落振興會長、青年團長等をして慰問せしめたり。

(2) 慰問袋作製

各町會は五箇、部落振興會にては三箇宛の慰問袋を作製し取纒めの上二月二十日迄に州宛發送の手續をなす筈。

第五日（二月十五日）「非常時經濟への協力の日」

本日は全州下の小公學校兒童、中等學校生徒、婦人會員、男女青年團員の活動に依り廢品回收に努め豫期の效果を收めたるが蒐集品は金に代へて國防献金とする手續中なり。

第六日（二月十六日）「銃後の後援强化の日」

本週間中節約したる費用及賃金の一部を各戸より自發的に献金したるものを各市街庄に於て取纒めたり。

第七日（二月十七日）「非常時心身鍛錬の日」

(1) 各市街庄に於て豫定の通り非常時に相應しい心身鍛錬を實施したるが新竹市に於て擧行せる行事次の通り。

午後二時各官公衙、學校、會社、銀行、組合、壯丁團、青年團、其の他各種團體一般市民約一萬一千餘名は新竹小學校々庭に集合、國歌齊唱、神宮竝宮城遙拜、皇軍の武運長久祈願默禱の後愛國行進歌を唱和しつゝ市內を行進、新竹神社に參拜歸途新竹第一公學校々庭に於てラヂオ體操を行ひ知事の發聲に依り天皇陛下萬歲を三唱後解散す。

(2) 講演會

國民精神總動員新竹州支部主催の講演會は支部より講師を派遣し、各市郡に於て開催せられたるが各地共盛況裡に多大の效果を收めて終了せり。

○支那事變に關し執りたる措置

臺南州臨時情報部

一　强力放送局敷地買收提供

南方電波戰の制覇を目指して我が臺灣に建設せらるゝ强力放送局は敷地を本州下嘉義郡民雄庄頂寮に決定せられたるに依り、州は之が敷地を買收提供することゝし、曩に州會通常會に於て滿場一致の協贊を得て豫算三萬圓を追加計上すると共に昭和十三年二月十九日正式に土地買收を完了せるが之が關係者一同何れも欣然として調印を了し國策に順應する所ありたり。

二　北門號献納指導

本州下北門郡に於ては軍用飛行機愛國北門號献納を企圖し昭和十二年十二月郡下居住者を擧げて愛國北門號献納促進會を組織し献金募集中の處、總額七萬六千九百十六圓四十九錢に達したるを以て二月十一日紀元節の佳辰をトし州廳を通し之が献納の手續を爲したり。

三　臺南州銃後奉公會献金募集の指導

州下本島人有志を以て組織し銃後報國の一助として國防献金及恤兵慰問金募集を目的とせる臺南州銃後奉公會は、昭和十二年九月共の結成以來第一回献金十萬圓を目標に極力募集に從事中の處、既に其の募集を終了せるが募集金額十八萬七千餘圓に達する成好績を擧げたり。

四　鹽田豫定地たる魚塭の買收協力

非常時國策に順應し工業鹽大增産に伴ふ鹽田大擴張事業は本州東石、北門兩郡下に於て總面積三千八百甲に達する新規鹽田の開設を見ること丶なり昭和十三年二月二十二日之が發表と同時に同日午前十時より北門郡、東石郡、臺南市に於て夫々關係土地所有者の參集を求め、買收に關する趣旨を説明の上充分なる諒解を得直に賣買契約の調印を開始せるが非常時熱意の現はれは各業主とも欣然則應し同日午後二時半千百餘名に對する契約を完了せり。

五　非常時局と納稅精神の發揚

二月二十日を納期限とせる後期分地租其の他及二月二十五日を納期限とせる後期分營業稅其の他は市街庄稅を除くも其の調定總額四百四十八萬七千九百二十九圓十六錢人員八十一萬八千六百十三人を算する狀態にして之が納稅成績に付ては關係當局者の鋭意納稅精神の發揚に努めたると一般納稅者が非常時局を認識し納稅報國の赤誠を披瀝したる結果は臺南、嘉義兩市を除く外十郡六十六街庄悉く完納し徵收步合金額人員共九九・九%の好成績を擧げ非常時財政の運營上遺憾なきを期せしめたり。

六　國庫債券の應募指導

第二回支那事變國債は昭和十三年二月十五日各郵便局より一齊に賣出されたるが州民銃後の燃ゆるが如き愛國の熱誠は各郵便局共午前中に悉く賣盡され遺憾なく擧州一致銃後報國の赤誠を披瀝する所ありたり。

○銃後の花蓮港

花蓮港廳臨時情報部

一　國民精神總動員第二次强調週間

二月十一日　**建國祭典**

午前十時三十分官民、各團體花崗山に集合、建國祭典竝國威宣揚、皇軍武運長久祈願祭を擧行せり。會する者二千、十一時式を終りて小學校兒童を先頭に折柄降りしきる小雨の中を愛國行進に移り市街地の主要箇所を廻り十二時散會せり。

尙本式典に參加せざりし一般は午前十一時を期し其の位置に於て神宮竝皇居遙拜をなせり。

二月十二日　**時局生活の反省日**

現下非常時局に處する國民として私生活に對する反省の日とし
1早起の實行　2家庭内外の掃除
3一食一菜の實行　4節酒勵行
の各項目を勵行せり。
尙午後七時より昭和記念館に於て時局講演會を開催、參會者三百餘名に上り非常なる盛會にして聽衆に多大の感銘を與へたり。

二月十三日　殉職勇士讃仰の日

一、午前八時花蓮港神社に於て皇軍武運長久祈願竝殉職勇士に對する感謝祭を行ひ同九時終了せり。
二、在鄕軍人會、愛國婦人會に依り戰死者遺族竝應召者遺家族の慰問をなせり。
三、正午のサイレンを合圖に戰沒將士の英靈に對し各自現在位置に於て一分間默禱をなす。

二月十四日　勤勞報國の日

午前七時三十分より花蓮港神社境內及參道の美化作業をなす、老幼男女七百名出役し同八時三十分終了す。

二月十五日　非常時經濟への協力の日

一、各區內に於て區總代率先し區內を勸誘し空瓶、古雜誌、新聞其他不用品を蒐集し之を賣却したるが其の代金四百六十五圓十六錢に達し、之を傷病兵其他の慰問、又は國防献金に充つることゝせり。
二、愛國公債、愛國貯金の應募
各支部へ通牒を發し目下勸誘中なるが成績、三倍に上る見込なり。

二月十六日　銃後の後援强化の日

一、國防献金の募集　各區總代をして前日の不用品賣却代金を國防献金として募集、四百六十五圓十六錢の應募あり夫々献金手續を終了せり。
二、午後七時より昭和記念館に於て軍事講演竝軍事映畫會を開催、折柄の降雨にも不拘會同する者七百名にして多大の感銘を與へたり。

二月十七日　非常時心身鍛錬の日

一、午前七時三十分より花崗山グラントに於てラヂオ體操を行ふ。老幼男女多數集合盛會を極めたり。
二、午後一時より武德殿に於て一般武道大會を開催せり。
尙鳳林玉里兩郡下に於ても略々右に準據し諸行事を擧行せり。

○出征軍夫よりの通信

澎湖廳臨時情報部

名譽ある軍夫として勇躍○○方面へ出征し、皇軍のため奮鬪中の澎湖出身軍夫より夫々次の如き音信が屆いたが何れも素朴の文中に燃ゆるが如き愛國と愛鄕の心が窺はれ力强さを思はしめるものがある。

洪水成君より 私達一同は無事〇〇月二日〇〇へ着きました。私は郷里で防衛團員として働いて居た時の事を今思ひ出して感謝に堪へません。

私達は日本國民として、今日此の非常時に軍夫として出征して來た事を喜んで居ます。そうして一生懸命に働いて居ます。皆元氣です。君達はよく我が國體を愛護して團長や分團長の命令を守つて立派に白沙庄防衛團員の責任を果して下さい。之は私達の理想であり又希望であります。

林佛善君より 我が村から來た他の方を始め庄から來た〇〇名が、庄の名譽のため本島人の名譽のために、力のある限り皇國のために盡して行きたいと、暇のある度毎に申合してゐますからどうぞよろこんで下さい。

私どもの仕事は〇〇仕事で、あんまり樂でかへつてすまないやうな氣がします。それにもかゝわらず皇軍の將士から子のやうに弟のやうに可愛がられます。

先生、私はこゝにきて始めて日本國民である吾々は有難いものであることをしみ〴〵感じました。そして今までの自分の不甲斐なかつたことを恥づかしく思ひました。

吳如丁君より 皆樣には益々御勇健の事と思ひます。小生去る〇〇月二十八日到る所にて熱誠なる歡呼の聲に送られ、元氣旺盛にて〇〇月二日〇〇に安着致しました。其の後各地を轉々と活躍し、戰場で痛快に働いて居りますから御安心下さい。

今日戰地に於て幾千萬圓を賭しても得ることの出來ない聖戰に參加し、且つ經驗と歷史を飾ることを思へば洵に無上の光榮にて感謝に堪へませぬ。勿論身を御國に捧げたるものなれば再び歸るとは思ひません。御國の爲粉骨碎身奉公の誠を盡す覺悟です。

美談集錄（十六）

臨時情報部

◆南國の兄弟

熱烈燃ゆる祖國愛

汗と膏・眞心の献金

黑潮躍る南海に浮かぶ澎湖諸島にも暴支膺懲の戰報一度び傳はるや島民の愛國熱はいやが上にも高調した。中にも澎湖廳西與庄小池角生れの顏水連君は「**皇恩に報いるは此の時なり**」と熱烈燃ゆるが如き愛國の心に暴戾飽くなき支那兵を討つ皇軍の手傳ひをせんものと日頃啓培し來れる祖國愛を披瀝して軍夫を志願したのであつた。

彼の報國の念に燃える熱誠は報いられて遂に白襷隊の〇〇として〇〇方面に向ひ、後方より第一線に進み勇敢に活躍して出先軍部側に認められ**軍夫長**に拔擢されるに至つたのである。

銃後に在る同君の兄顏水發君も亦弟に負けず劣らずの熱血漢で後を追うて嘆願したが、其の機に惠まれぬところから意を決して**銃後奉仕に心を碎くのであつた。**

水發君は毎朝明けやらぬ海岸に飛び出しては東天を拜し「**皇居を遙拜し皇室の彌榮と、皇軍の武運長久との祈り**」を濟ますと屑鐵、屑ゴム其の他有用の廢物を集めるに日を缺かさなかつた。

やがて愛國の尺度の如く積まれ行く廢物はいつしか山を築いた。水發君の喜びはたとへ様もない。――**高くなれば高くなる程「今少し〳〵」「いやもつと〳〵」**と意氣込むのであつた。――かくする中に紀元の佳節に當り國民精神總動員强調週間が實施されるを機に二百六十斤の廢物を賣り拂つてその賣上高そつくり。

「私の眞心です僅かですが國防献金にして下さい」

と願ひ出た。

それ許りではなかつた。

彼は又銃後に於ける奉公の一として**皇民化運動**に東奔西走し寸時を利用しては同志と語り社會敎化劇團を組織して三月には盛大に開演し其の收入を國防献金すべく計畫し、次のプログラムを決定開演する運びとなつてゐるのである。

一、國民精神總動員の一日
二、出征軍屬の母
三、民風作興の老人
四、迷信打破
五、村の惡習解除

帝國南端の守は斯くして堅く結ばれ小さき島々の人々にも、銃後國民の祖國愛が日を追うて燃え熾るのである。

◆これぞ眞の日本少年

死の床に叫ぶ天皇陛下萬歳!!

君が代と共に永遠に匂ふ萬朶の櫻

非常時の深刻化と共に眞の日本人たれとの叫びは遂に國民精神總動員運動となつて現はれ、殊に特殊事情の下に國防上の重要據點をなす臺灣に於ては**本島人の皇民化運動**を伴ひて、其の强調に一段の拍車をかけられつゝある秋、**死の床に　天皇陛下萬歳を奉唱し、君が代を歌ひつゝ死**んで行つた銃後少年の清き魂は、**皇民化運動のこよなき指標として永遠に南の島の語り草**となるであらう。

此の美談の主は臺南市西門町に讃岐湯と言ふ錢湯を營み、夫亡き細腕に遺兒を育てる淸水キイさんの次男南門小學校四年生**淸水五郎君**である。五郎君は去る二月十五日錐でもまれる様な横腹の痛さに堪へかねて病床の人となつたのであつた。早速醫師の來診を乞ふと**盲腸炎**と診斷された。盲腸炎には先づ何よりも絶對安靜と局部を冷す事とが一番大切だと云ふので、常夏の島とは云へ二月の寒空に氷で冷しながら母親つききりで治療につとめてゐる中に、十七日とう〳〵盲腸炎にとつて一番恐ろしい**腹膜炎**を併發して危篤の狀態に陷つた。直ぐ樣臺南醫院に入院の上腹部切開の大手術を受けたが、五郎君は子供乍らもヂット齒を食ひしばつて「痛い」との言葉さへ發しなかつた。

手術後の經過は豫想外に良好だつたので此の分では……と家族一同愁眉を開いたのも束の間、二十三日の午後から又々病勢惡化して二十四日夕刻には早くも**絶望**視される狀態になつた。病院の硝子窓越しに見える鳳凰木の日一日と色增す若葉や、蕾を開きかけた佛桑花の花びらに**來る春の喜びを**思つ

て手術後の苦痛を忍んでゐた五郎君は、急に周圍の空氣が重苦しくなつたのと、自分の體の調子からとで、子供心にも自分の死期の迫つてゐるのを知つた。

急を聞いて駆け付けた學友や近所の人々の集るのを待つて五郎君は

「お母さん僕はもう駄目です。最後まで我儘を言つて濟みませんが是非一度起して………」

と弱り切つた身體で無理に起き上らうとする。その苦しみを見かねた母親キイさんが何をするのかといぶかしみ乍ら抱き上げると母親の肩に瘠せ細つた片手を託し、眞白いベッドに揃はぬ足を揃へつゝ**不動の姿勢**をとつて、波打つ息の中から突然低い――然し力强い調子で「**天皇陛下萬歳**――」と三唱してグッタリと倒れ、

「**お母さんもう僕はこれで死んでもよい**」

よニッコリ笑つた。駆け付けた學友や近所の人々、はては死の光景など何時も見なれてゐる筈の看護婦達まで、**神々しい**までのその**姿**、その**聲**、その**態度**にスッカリ胸を抉ぐられて、ただむせび泣くだけであつた。やがて五郎君は靜かに目を開いて、枕頭に集る誰彼の名を呼び乍ら一人〳〵に「有難う」

「**有難う**」と挨拶し、最後に幼い妹スミ子さんの頭を撫で乍ら

「兄さんの分までお母さんに孝行するんだよ」

と息も絶え〴〵の中から言ひ殘した。今はもう子供の觀念し切つた樣子に母親キイさんが

「五郎まつすぐにお父さんの處に行つておくれ……」

と言ひ聞かすと五郎君はかすかに笑ひを浮べて頷き、最早見る力さへ無い兩眼を細くあけ、靜かに「**君が代**」を歌ひ出した。**息も切れ切れな中に續けられて行く崇高なる日本少年の魂の叫びに**、誰れ一人頭を上げ得ず、低く厳かに流れ行く君が代の中へと全靈を吸ひ込まれて行く。

君が代は――千代に八千代に――

次第に消え細り行く歌聲は遂に此處まで來て絶えてしまつた。

君が代の壯厳さに打たれて魂を奪はれた樣にしてゐた枕頭の人々が、ハッと氣づいて頭をもたげた時其處には病氣の苦しみから拔け切り、總べてに滿足し切つた人のみの持つ靜かな笑をたゝえた童顔**が冷たく十四歳の幕を閉ぢ切つてゐた。**

すつかり暮れ切つた如月の空から愛國少年の死を葬ふ星の光がキラ〳〵と輝いてゐた。

附録

事變日誌

臨時情報部

二月十九日

1. 倉林部隊、上窰河を渡河新城口を占領せり。
2. 濟寧附近の敵に反撃を加へ前進中の沼田部隊、安居鎭を占領尙南下中の一部隊は西正橋（濟寧西南八粁）の堅陣を突破せり。
3. 森田・坂西部隊、修武を突破博愛に向け進撃中なり。
4. 工藤、中村部隊、潞城を占領せり。
5. 片野部隊、濰縣（山東省）を出發安邱を占領せり。
6. 浦口、臨淮關間の鐵道修理完了、之により南京・浦口・臨淮關約二百五十粁間の連絡を完成せり。
7. 左の地に空爆を加へたり。
山西省（楡社・遼縣・沁縣・沁源・高平・長子・屯留一帶）・重慶（飛行場）・汜水附近（軍用列車）。

二月二十日

1, ヒツトラー獨總統、國會演説にてドイツ政府は滿洲國を正式承認する旨聲明せり。
2. 指宿部隊、定遠方面の淸掃を完了、池河驛街道を確保せり。
3. 森田・遠山部隊、博愛（修武西方）を完全に占領せり。
4, 工藤・中村部隊、城內の殘敵掃蕩を完了、潞安城に入城せり。
5. 片野部隊招賢鎭（莒縣地方）を占領せり。
6. 淇河右岸地區の萬福麟軍に猛撃を加へ潰滅せしめたり。
7. 山西省（沁源・楡社・高平）に空爆を加へたり。

二月二十一日

1. 沼田部隊、嘉祥（濟南西方）前面の第一線新桃河の線を奪取せり。
2. 吉田・岡部部隊、韮山集（上窰東方）にて約一千の敵を殲滅せり。
3. 杭州街道掃蕩中の藤山部隊、安吉附近の敵を完全に剿滅せり。
4. 山西省、河南省附近の我が軍狀
イ 我が軍、懷慶を完全に占領せり。
ロ、工藤部隊、屯留を占領せり。
ハ、同蒲線靈石の鯉登・貴島部隊、白壁關・大麥郊鎭を突破南下中なり。
5. 我か空軍左の地點を空爆せり。
宜昌・湖南省衡陽（十七機爆破）・浙江省麗水（處州）・吉安・韶關・粵漢線（滙江口・軍田）・肇縣・汜水。

二月二十二日

1. 沼田部隊は嘉祥前面の要地田家庄を、長野部隊は馬家庄を各々占領せり。
2. 山東省の片野部隊、要衝莒縣を一部隊は日照を各々占領せり。
3. 山西省、河南省方面の我が軍狀
イ 石黑部隊、孟縣を占領せり。
ロ 遠山部隊、夕刻濟源を占領せり。
（以上にて河南省黃河以北の要衝悉くを占領せり）。
ハ 高木部隊、川口鎭（介休西方十五里）を占領、尙一部隊は双池鎭（靈石西方）を占據せり。
ニ 汾陽を進發せる我が軍、要地陽城鎭を占領せり。

二月二十三日

1. 軍司令官朝香中將宮殿下、上海派遣軍最高指揮官松井大將及び杭州灣上陸部隊司令官柳川中將は交代歸還を命ぜられ、上海派遣軍指揮官として新に畑陸軍大將親補せられたり。
2. 沼田・長野部隊、嘉祥を占領せり。

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records http://www.jacar.go.jp/

3. 小堺部隊、杭州街道を進撃し梅景鎭の殘敵を一掃せり。
4. 山西省包圍中の長澤部隊吳城鎭を占領せり。
5, 岡崎部隊、沂水(山東省)を占領せり。
6. 我が空軍江西省の吉安を空襲、五機を粉碎せり。
7. 山西省北部の我軍、朔縣を出發、寧武神池に進出せり。
8. 敵機午前十一時五分臺北飛行場上空に現れ、爆彈約十數箇を投下せるも目標をはづれ損害極めて輕微なり。
9. 午後一時過敵機再度新竹州竹東街附近に現はれ爆彈數十箇を投下せるも之又損害輕微に終れり。

二月二十四日

1. 臺灣東北方に敵機現はるゝの情報來り午後〇時三分全島に警戒警報發せらるゝも遂に敵機見えず午後二時二十一分警戒を解除せり。
2. 岡崎部隊、苗家匯(莒縣西南)を占領、沂州に向け進撃中なり。
3. 我が部隊、山西省西部の重要據點中陽(寧郷)を占領せり。
4. 鯉登部隊、山西省西部省境の要地隰縣を占領せり。
5. 石黑部隊、懷慶・澤洲(晋城)街道を進撃大口村を占領せり。
6. 我が空軍左の地點を爆撃せり。
イ 陸軍機―離石(永寧)・中陽・霍州・隰縣。
ロ 海軍機―福州・漳州・玉山・衢縣・麗水・南雄(廣東省)

二月二十五日

1. 長野部隊、嘉祥附近の殘敵を掃蕩、濟寧間の道路を確保せり。
2. 山西省の戰況
イ 我が部隊要地離石(永寧)を占領せり。
ロ 我が部隊心臟部たる靈石を占領せり。
ハ 石黑部隊省境の油房頭(懷慶西北)の敵を撃破、天井關に進出せり。
3. 京漢沿線の匪賊續々歸順せり。

林縣―華玉椎匪千二百、輝縣附近―申翰光匪千五百、孫壽誠匪二千、大行山脈中―石烈匪四千、懷慶附近―大部隊。
4. 皇軍に歸順せる支那軍李白全の麾下、浦東來襲の敵部隊に對し皇軍と共同策戰に出で中支に於て最初の戰功を樹てたり。
5. 左の地點を空爆せり。
南昌(三十七機撃墜)・梧州(廣西省)・吉安及樟樹鎭・麗水・建甌(福建省)。

二月二十六日

1. 離石・中陽を突破した我が精鋭、柳林鎭(離石西方)を突破、夕刻黄河河畔の軍渡を占領せり。
2. 我が空軍臨汾を爆撃せり。
3. 第一回全島青年訓練所聯合演習を臺北平野に於て實施せり。

二月二十七日

1. 田代部隊、富田・横尾兩砲兵隊と協力の下に明光、臨淮關・五河を結ぶ三角地帶の敵を殲滅すべく我軍明光・溪河集・臨淮關の三方面より進撃を開始せり。
2. 鈴木・貴島・森本部隊、靈石に次ぐ要衝霍縣を占領せり。
3, 中村部隊、臨汾及其附近の飛行場を占領せり。
鹵獲兵器
迫撃砲百五十・野砲五・重機關銃二十・山野砲彈五百・迫撃砲彈百五十・小銃彈三十萬・地雷八百・火薬十萬瓩・師團旗二・貨車七十・其他多數。
4. 左の地點を空爆せり。
浙江省衢州・南昌・韶關・故城鎭(沁源東方)。

二月二十八日

1. 森本部隊、臨汾(平陽)城に到着、早くも南方に向け進撃せり。
2. 鯉登部隊、隰縣西方の要衝午城鎭を攻略せり。
3. 濟源を進發せる遠山・池田・宮川部隊、垣曲(山西省)を占領せり。
4. 山東掃蕩部隊、湯頭鎭(沂州東北)を占領沂州に迫れり。

5. 山西省北部の千田●岸田部隊五寨を經て保德を占領せり。

6. 久野村部隊、平魯附近に轉戰し偏關（山西省北部）を占領せり。

7. 我が空軍、曲沃（山西省）●同蒲線鐵橋●襄陽（湖北省）を空爆せり。

8. 二月中の我が海軍機の戰果

敵機	擊墜 八七	地上爆破 六九
	計	一五六機
	我方	一三機
累計	擊墜 三七八	地上爆破 四七〇
	計	八四八機
	我方	七八機

（以下次號）

北支重要資源

北支一帶の地は、石炭、鐵等重工業資源頗る豐富にして、その主なるものを擧ぐれば

▲石炭　全中國の石炭埋藏量は二千四百四十億噸と概算さる。

北支にはその五十五％一千三百三十億噸の埋藏量あり、滿洲國總石炭埋藏量四十六億噸の殆ど三十倍に該當する。

就中察哈爾、綏遠、山西省が優秀な地にして察哈爾南方には約五億噸、綏遠には約四億噸、山西には一千二百七十億噸の石炭を包藏す。

▲鐵鑛　全支那の鐵は北支にありと云はれた程の鐵資源地にして北支の地位は重大である。即ち埋藏量は全支那の七十五％にして二億三千六百萬噸である。

▲棉花　河北省北方地帶、山東省北方地帶、河北山西省南方地帶は全支那棉花總產額の五十四％の產地で、將來有望視されてゐる。

▲羊毛　內蒙古の羊毛は現在は勿論、將來大いに有望視さる。

昭和十三年三月九日印刷
昭和十三年三月十一日發行　（月三回發行）

臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地
印刷人　加藤豐吉

臺北市京町一丁目四十三番地
印刷所　小塚本店印刷工場